



川口けいすけの

# グリーンズ川越

since 2003

23

編集/発行 川口 けいすけ ☆30歳☆ 〒350-0002 川越市古谷本郷1492-5 J2-201  
TEL 080-3025-5776 FAX 049-235-5859 E-mail: umetarou10@msn.com

## 「ハッ場ダム②」～川越の水も余っている?～

50年以上前に計画された公共事業であり、日本一高いダム事業は本当に必要なのか、1都5県に対し事業撤退を求める住民訴訟が行われる中、13号で取り上げた「ハッ場ダム」問題を再び取り上げます。今回は水道料金のお話と、「若山牧水」が80年以上前に吾妻渓谷を訪れた際につくった詩もご紹介します。

右の図は、川越市民が支払っている水道料金の使い道を表したものです。100円のうち40円は県から水を買うために使っています。ダム事業が行われればさらに増える可能性があります。

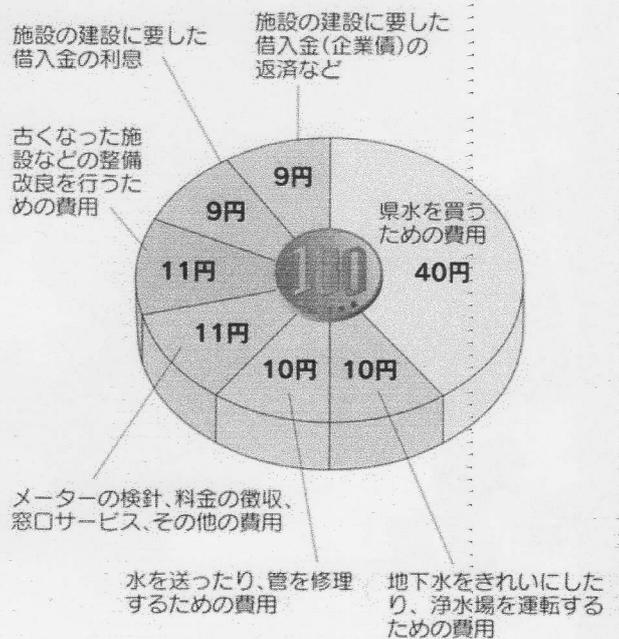
川越市は川に囲まれ、地下水も多い、水に恵まれた所で、本来県から買う必要は無いように思いますが、なぜか買わなければいけないそうです。

現在市内の水道水の中には5%前後の地下水が使われています。最近新聞にも載りましたが、ペットボトルにして売り出すことになった「川越の水」もこの地下水です。売るほどあるのに他から買っているのか?とってしまうのは私だけでしょうか...

9000億円もの税金を投入(埼玉県は1210億円)することになるこのハッ場(やんば)ダム計画(全国一高いダム事業)。この無駄づかいを止めるために東京・埼玉・千葉・群馬・栃木・茨城では、昨年より住民訴訟が始まっています。

50年以上前の非現実的な治水計画の下、強引に進められるハッ場ダム建設は、他人事ではなく、我々の生活に直接影響を及ぼす問題なのです。

### 水道料金100円の使い道



私はいつまでもこの溪間の林が  
この寂びと深みとを湛へて  
永くから祈るものである。  
心から祈るものである。  
・ ・ ・ (中略) ・ ・ ・  
さうか私と同じ心でこのために  
永久の愛護者となつて  
ほしうを挟んで森が  
この流をゆるいで森が  
このゆるいことである。  
若くは君が自慢の森が  
無数の君が自慢の森が  
なすが決まると悲しむのだ。  
無数の君が自慢の森が  
なすが決まると悲しむのだ。

若山牧水

『静かなる旅をゆきつつ』